

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 茨城県教育研修センター
コラボ研修プログラム	事業名：Online EdCafé (オンライン・エドカフェ)
支援事業報告書	研修等名：【NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修】 Online EdCafé (オンライン・エドカフェ) ～教育の未来を語りあうオンラインカフェ～
	開催日時：令和5年5月9日、7月18日、9月26日、10月18日、12月6日 令和6年1月26日 (第27～32回 全6回) 開催場所：Zoomを用いたオンライン開催、茨城県教育研修センター (笠間市平町 1410) 参加人数 (延人数) と参加者の属性： (54人) 茨城県内の教職員 44人、学識経験者 10人

内容：

大阪市立大空小学校初代校長 木村泰子 氏、国立大学法人熊本大学准教授 苫野一徳 氏、横浜創英中学・高等学校長 工藤勇一 氏を講師に迎え、教育に関する諸テーマについての意見交流をオンラインで行った。対話の様子を YouTube で公開配信した。各回のテーマと参加者、主な内容は以下の通り。

- 第27回 「年度始めの出会いを問い返そう」 参加者：木村氏、県内の教職員9人
学校での「年度始めの出会い」について、参加者の経験をもとに対話した。
- 第28回 「学校行事を問い返そう」 参加者：木村氏、苫野氏、県内の教職員8人
子どもを主語にした学校行事の在り方について、参加者の経験をもとに問い返した。
- 第29回 「一人だけでがんばりすぎていませんか？」 参加者：木村氏、県内の教職員7人
学校で教師が「がんばる」ことについて、子どもたちとの関係性やチームの在り方の視点で問い返した。
- 第30回 「視聴者のモヤモヤから対話しよう」 参加者：木村氏、県内の教職員8人
視聴者から寄せられた感想・質問をもと、子供を主語にする学校づくりについて対話した。
- 第31回 「未来の民主主義を実現するために、学校教育を考えよう～「子どもの学び方」と「教師の働き方」の視点から～」 参加者：木村氏、苫野氏、工藤氏、県内の教職員5人
参加者の経験をもとに、民主主義を実現する学校の姿について対話した。
- 第32回 「年度末を迎えた今、教職員には何ができますか」 参加者：木村氏、苫野氏、県内の教職員7人
年度末に子どもたちに何を語るかという問いから、卒業式や年度末の振り返りについて問い返した。

成果：

- ・対話の様子を録画し、編集を加えて YouTube で公開配信した。再生回数 (2/21 現在) は以下の通り。
第27回 2,289 第28回 3,022 第29回 1,672 第30回 1,908 第31回 10,101
※令和2年度からのシリーズ総再生回数は16万回を超えた。
- ・公開動画への視聴者からの意見
EdCafé の対話を基に同僚と語り合ったり、子どもたちの姿から自分を問い直したりすることができた。
動画を視聴して対話型の研修を行い、全ての子どもの学習権について考えを深めることができた。
「子どもを主語にした授業」の実現に向けて、「教師が教える授業」から「子どもが学ぶ授業」へ転換するためのヒントを得ることができた。エドカフェの視聴を通して得た学びを、たくさんの人に伝えていきたい。

アイデアや工夫したこと：

- ・ゲスト対話メンバーとして有識者を1名追加することで、より多角的な視点から対話が広がるようにした。
- ・第30回は視聴者からの質問や感想をもとにテーマを作成することで対話がより身近なものになるよう配慮した。
- ・公開動画にチャプターを設定することにより、視聴者が動画の内容をより把握しやすくなるようにした。

<写真・図など>



講師の工藤先生、苫野先生、木村先生



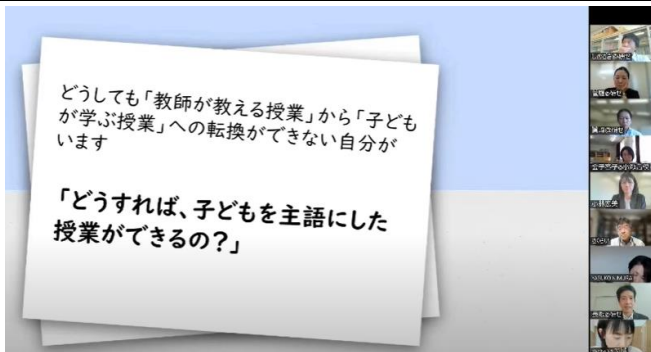
【第27回「学校での民主主義を考える」】
オンライン対話の様子



【第28回「学校行事を問い返そう」】
対話テーマ



【第29回「一人だけでがんばりすぎていませんか？」】
オンライン対話の様子



【第30回「視聴者のモヤモヤから対話しよう」】
対話テーマとオンライン対話の様子



【第31回「未来の民主主義を実現するために、学校教育を考えよう～「子どもの学び方」と「教師の働き方」の視点から」】
オンライン対話の様子



教育研修センターYouTube 動画の一覧



教育研修センターweb ページの動画へのリンク